

## これからの社会的養育・里親養育は何を目指し、どう変わるのか ～ 英国里親支援プログラムの実施・導入から学ぶ ～

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号:20210392>

期 日:2025年2月1日(土)

受講対象:社会的養育、社会的養護、里親養育に関わる全ての専門職・行政職・民間団体・ボランティア、本講座内容に関心のある学生、研究者の方

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。)

受講料:8,500円(税込み)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

### ★★★★★ 企画講師 ★★★★★

早稲田大学人間科学学術院教授  
総合研究機構社会的養育研究所所長  
こども家庭審議会委員

## 上鹿渡 和宏 先生

2020年度より家庭養育優先原則に基づく社会的養育構築のため各自治体での取り組みが始まった。この間こども家庭庁発足、こども基本法制定などを経て、日本の社会的養育は様々な新たな取り組みを実現できる好機を迎えている。特に2025年度からの5年間は、こどもの権利を基盤に、アタッチメント、パーマネンシーの考えを軸とした取り組みが全国で計画され、里親養育についても新たな実践が期待されている。

本講座では、現場で必要とされる具体的な里親支援について英国の取り組みから学ぶ。世界的にも有名なタビストック・クリニック、アンナフロイトセンター、モーズレイ病院で里親支援のために開発され、日本でも実施・導入中の3つのプログラムを紹介し、開発の目的や経緯も含め内容について理解を深め、日本国内での活用の実際や可能性について考える。

【企画講師:上鹿渡 和宏】

### 【プログラム】

時 間	テ ー マ	講師(敬称略)
10:30~12:00	これからの社会的養育、里親養育 ～国・自治体・民間の動向と今後必要な取り組み～	早稲田大学人間科学学術院教授 上鹿渡 和宏
12:00~13:00	昼 食 (各自おとりください)	
13:00~14:20	Watch Me Play!(タビストック・クリニック) 乳幼児里親支援のためのプログラム	白百合女子大学人間総合学部講師 御園生 直美
14:30~15:30	Reflective Fostering Programme(アンナフロイトセンター) メンタライジング理論に基づく新しい里親支援プログラム	早稲田大学総合研究機構研究院講師 那須 里絵
15:40~16:50	フォスタリングチェンジ・プログラム(モーズレイ病院) 日本でも広がる委託後里親のための支援プログラム	一般社団法人無憂樹代表 上村 宏樹
17:00~17:30	質疑応答・まとめ	講師全員

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。